

マーケティングの決断 2

行動の種類: _____

ターゲット・オーディエンス： あなたは誰に働きかけを行いますか？

おおざっぱな集団からさらにTarget audienceを見つける

—

- ①
- ②
- ③ 影響力、
あるいはニーズ
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

反応しやすさ

メッセージとメッセージング：健康情報を行動に結びつける！

Step 1：ターゲット・オーディエンスの特徴を明らかにする

- ターゲット・オーディエンス：あなたがメッセージを届けたいと思っている下位集団のこと、年齢・性・結婚歴・職業・地理的場所・ライフスタイル・健康関連の態度・行動など多くの特徴によって明確に区分される。

Step 2：ターゲット・オーディエンス調査

- ターゲット・オーディエンスについて必要な情報
 - 年齢、性、仕事場所、住居など
 - 関連する知識、態度、実践
 - テーマに関する文化的習慣、好み、感受性
 - 効果的な動機づけ要素（行動変容の恩恵、結果への恐怖心、報酬、ソーシャルサポート）
- 情報収集の方法
 - ターゲット・オーディエンス調査（既存のデータや新たな調査）
 - フォーカスグループインタビュー など

Step 3：プロダクト（資料、教材、冊子など）内容の構想を練る

- 教材の行動目標を明確にする
- 読者が行動目標を達成するために必要な情報ポイントを明確にする
- 最も適切なプレゼンテーション方法を選択する
- その教材に関してターゲット・オーディエンスに相応しい識字レベルを決定する
- ターゲット・オーディエンスがテーマの内容を、実際に使う前後関係や状況と合わせる

Step 4：コンテンツとビジュアル（写真やイラスト）を開発する

- コンテンツ情報は、オーディエンスのニーズと興味に合わせる。
- 下書きの準備段階では、読者のニーズに合わせて、コンテンツ、レイアウト、ビジュアルを使用する。
- 効果的な教材を開発するためにキーとなる原則を参考にする。

Step 5：事前テストと下書き教材の修正

- 事前テスト：ターゲット・オーディエンスの一部にテストを行い、彼らの反応を見ながら、下書き段階のメッセージやビジュアルを確認・修正する。
- 教材がうまく理解されているか、オーディエンスのニーズや懸念を抱く事柄に応答しているか、文化的、地域的として適合しているかを確認する。
- 事前テストの目的を理解する ⇒ 事前テストをまとめる ⇒ 事前テスト参加者の識字レベルを調べる ⇒ 事前テストの面接を実施する ⇒ 事前テストの結果をもとに教材内容を修正する。

チェックリスト：効果的な low-literacy 印刷教材のキーとなる原則

コンテンツ/スタイル

- その教材はオーディエンスと相互作用的であり、また彼らを巻き込んでいるか
- その教材は“how to”情報を提供しているか
- 個人の識別を強化したり、読みやすさを改善するのに適当と認められるときに、仲間内で使う言語（方言やスラングなど）が使用されているか
- 言葉（用語）は読者になじみがあるか、新しく登場した言葉（用語）は明確に説明されているか
- 文章はシンプルで、具体的で、单刀直入で、能動態で書かれているか
- それぞれのアイデアは明確で、論理的（オーディエンスの論理に従って）に配列されているか
- テーマの数は1ページごと、あるいはひとまとまりごとに制限されているか（多くなりすぎない）
- その教材は、抽象的な考えよりも具体的な例を示しているか
- 文章は、重要なポイントに焦点を当て、要約が行われているか

レイアウト

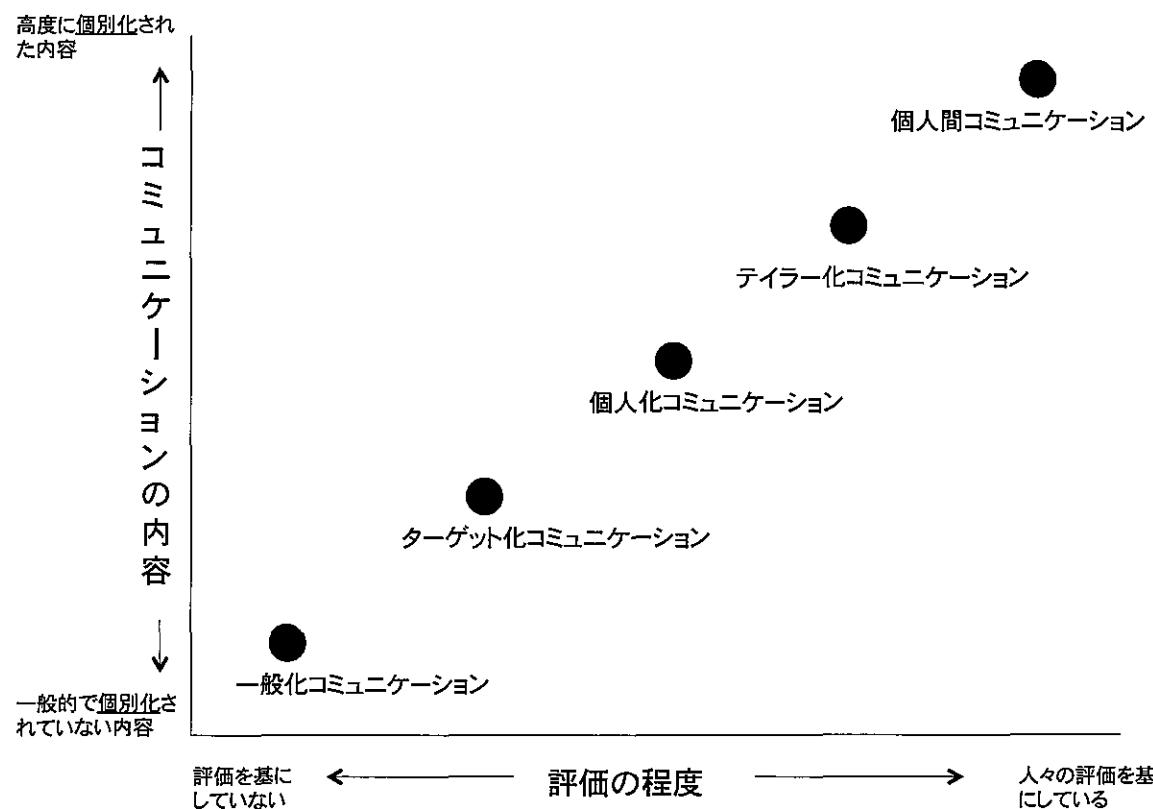
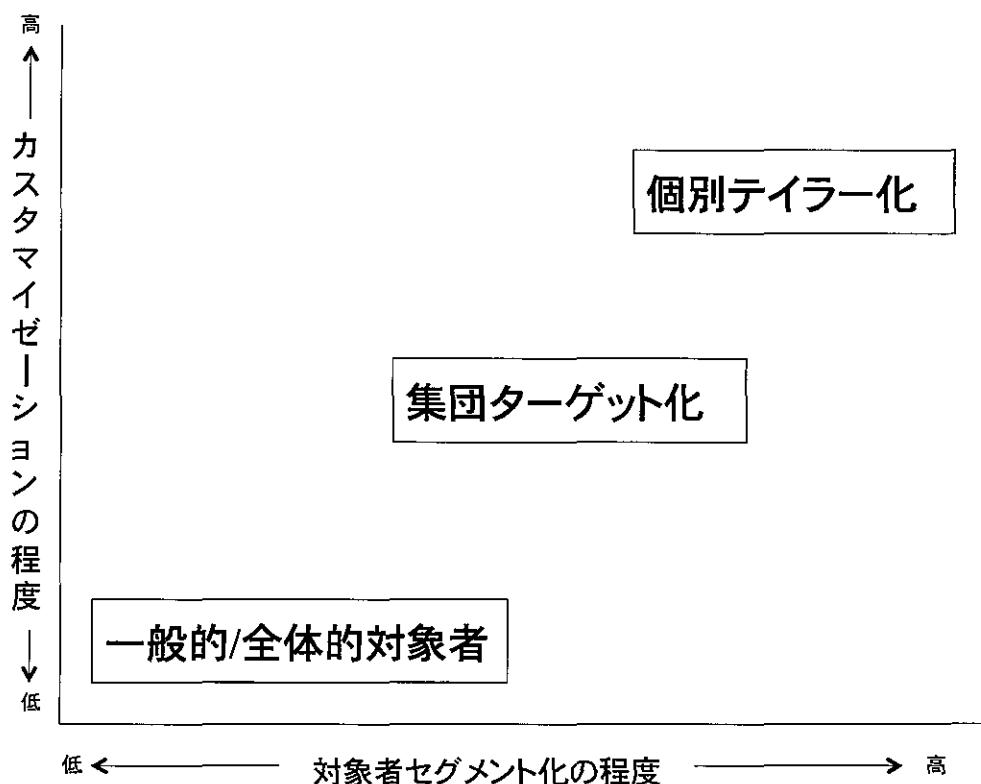
- その教材は先行オーガナイザー、あるいはヘッダーを使用しているか
- ヘッダーはシンプルで文章に近接しているか
- 白地の文字スペースとイラストの割付はバランスがとれているか
- 文章には小文字、大文字が使用されているか
- 強調すべき内容として、すべて大文字よりはむしろアンダーラインやボールドが使われているか
- タイプスタイルやプリントサイズは読みやすいか、タイプは少なくとも12ポイント以上を使用しているか

ビジュアル

- ビジュアルは文章と関連しているか、ターゲット・オーディエンスに意味（関連）のあるものか、適切に位置取りがされているか
- イラストと写真はシンプルで、混乱を招いたり邪魔をしていないか
- ビジュアルは子どものイメージよりはむしろ大人のイメージを使用しているか
- イラストは、文化的な文脈に影響を与える親しみのあるイメージを示しているか
- ビジュアルには説明文がついているか、それぞれのビジュアルは絵や図をいれて、1つのメッセージに直接関係しているか
- 背景なしの写真、陰影のある線画、シンプルな線画のように独自のスタイルはどれが最もターゲット・オーディエンスに理解されやすいかの事前テストを行ってきたか
- 円や矢印のような合図で、キーとなる情報を指し示しているか
- 使用された色は、ターゲット・オーディエンスにアピールしているか（事前テストによって決定）

読みやすさ

- 読みやすさの分析は reading level を決めるために実施されたか
-



運動内容の推奨（早稲田大学応用健康科学研究室：上村真美作成）

